

聾学校における防犯学習の実践

——きこえにくさに配慮した取組——

県立山形聾学校

校長 横山 莞二

〒990-2314 山形県山形市大字谷柏20 Tel (023)688-2316

I 学校の規模及び地域環境

- 1 学校規模 学級数 21名
幼児児童生徒数 48名
教職員数 70名
- 2 地域環境…周囲を田んぼに囲まれ、民家等も少ない。学校の周囲にはフェンスなどもなく、敷地内にはどこからでも立ち入ることができる環境にある。

II 取組のポイント

- 1 幼稚部、小学部、中学部・高等部と学部を分け、幼児児童生徒の実態に応じた防犯教室の実施。
- 2 聴覚障害に配慮した不審者侵入のサインの設定。
- 3 職種が異なる全教職員で協働して取り組む。

III 取組の概要

1 取組のねらい

校内に不審者が侵入した場合の対処方法について確認し、実際の場面においても適切で安全な行動がとれるようにする。

(重点) 相手を不審者と認識した時に、

- (1) しなければならないこと
→逃げる。(先生のいるところへ行く)
- (2) 絶対してはいけないこと
→近づく。向かっていく。刺激する。

ことを理解させる。

2 取組の内容

幼稚部、小学部、中学部・高等部・高等部専攻科の3グループに分かれて、幼児児童生徒の発達段階や実態に応じた内容で防犯教室を実施した。聴覚障害に配慮し、ロールプレイを取り入れたり、板書を工夫したりするなど、視覚的にも理解が図れるようにした。

以下、指導の流れ参照。

防犯教室 (中学部・高等部・高等部専攻科編)

健T…健康指導部職員 S…生徒

指導の流れ (主な発問◎)	生徒の反応	留意点
・学校はたくさんの人が出入りすることを確認する。しかし、お客様とは言えない人も学校に入ってくる場合がある。 不審な人を見かけた時の対応について学習しよう。		※具体例を挙げて提示
場面 1 (休み時間の教室) ◎もし、こんな人が教室に入ってきたらどうしますか。 (刃物や鈍器などを持ち、教室に入ってくる。…健T) まず逃げる事が大切 ケースの提示 (健Tでロールプレイ) ①怖くて動けなくなる。 } いずれも危険で ②向かっていく、抵抗する。 } あることを示す ③逃げる。…不審者が入ってきた出入り口とは別の出入り口から廊下に出る。または、テラスから外に出る。	モデルS1 逃げる。動けなくなる。	※不審者を見かけたり、不審者が近づいてきたときには、まず逃げる事が大切であることを確認する。

<p>◎逃げた後はどうすればよいでしょう。</p> <p>ケースの提示（健Tでロールプレイ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>助けを求めながら、先生のいるところ（職員室や事務室など）に行く。</p> </div> <p>①廊下に逃げた場合…「助けて」と大声で叫びながら、職員室や事務室など、先生がいるところに行く。</p> <p>②外に逃げた場合…校舎東、西側を通過して職員室、事務室、寄宿舍などに行く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・助けを求める。 ・先生に教える。 	<p>※「助けて」と叫ぶことで、近くの先生に気づいてもらったり、他の人に危険を知らせたりすることができることを確認する。</p>
<p>場面 2（休み時間の廊下）</p> <p>◎もし廊下を歩いていて、こんな人が近づいてきたら、どうしますか。</p> <p>（今にも襲いかかってきそうな怪しい人。…健T）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教室の場合と同じで、まず逃げる。そして先生のいるところに行く。</p> </div> <p>◎不審者の向こうに先生の姿が見えます。その場合はどうしますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>不審者側に先生がいても、不審者の方には近づかず、反対方向に逃げる。</p> </div> <p>ケースの提示（健Tでロールプレイ）</p> <p>①先生の方に向かった場合…不審者に捕まってしまう。</p> <p>②不審者と反対の方向に逃げる場合… 声を出して非常事態を先生に知らせながら、逃げる。</p>	<p>モデルS 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げる。 <p>モデルS 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大声で叫ぶ。 ・先生のいる方に逃げる。 	<p>※まず逃げる。（教室に入ったら逃げられなくなったり、危険を周囲に知らせられなくなる場合もある。）</p> <p>※いかなる場合も、不審者に近づいてはいけないことを確認する。</p>
<p>◎不審な人を見かけたら？</p> <p>約束の確認</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>①逃げる。</p> <p>②大声で助けを求めながら、先生のいるところに行く。</p> <p>③絶対に近づいたり、向かっていったりしない。</p> </div> <p>・万が一の時、わたしたちの命や安全を守るためにこの約束をしっかり覚えて、行動できるようにしましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・逃げる。 ・大声で助けを求めながら、先生のいる所に行く。 など 	<p>※必要ならば、健Tで場面を再現する。</p> <p>※<u>防犯ブザーの使用のしかたや、サインなどについても確認する。</u></p> <p>※怪しい人を校内外で見かけたときは、すぐに知らせることも確認する。</p>

指導の流れ（主な発問◎、指示○）	幼児児童の反応	留意点および配慮事項
<p>○学校にはたくさんのお客様がいらっしゃいます。 しかし、お客様とは言えない人も学校に入ってくる場合があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">怪しい人を見かけた時はどうすればよいかについて学習しよう。</div> <p>場面 1（先生がいない休み時間の教室） ◎怪しい人を見かけたら、皆さんはどうしますか。 ○では、今、ここを先生のいない休み時間の教室と考えてやってみましょう。 （モデルの子どもが席に着くか着かないかのうちに不審者が刃物を持ち、教室の前の戸から入ってくる。 …不審者役 T）</p> <p>モデルSの反応をもとにケースの提示 （不審者TとモデルSでロールプレイ…場面の再現）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①怖くて動けなくなり、捕まった。 ②逃げたが、中途半端だったため捕まった。 <p>◎どうすれば良かったのでしょうか。 ◎では、どこに逃げれば良かったのでしょうか。 ◎こんなのはどうかな。 （不審者をやっつけようと向かっていく…T） ○では、もう一回やってみましょう。</p> <p>◎逃げた後はどうすればよいでしょう。 ◎いつも先生がいるところはどこでしょう。 ◎職員室に行くまでに、他の先生に気づいてもらう方法はないかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">声を出して助けを求めながら、先生がいるところ（職員室や事務室など）に行く。</div> <p>・逃げているつもりで大きな声を出してみよう。</p>	<p>・逃げる。</p> <p>モデルS 3人 ・動けなくなる。 ・逃げる。</p> <p>・捕まらないように逃げれば良かった。 ・外、反対の出入り口 ・だめ。捕まってしまう。</p> <p>モデルS 3人 ・外や廊下に逃げる。</p> <p>・助けを求める。 ・先生に教える。 ・職員室。 ・叫ぶ。</p> <p>・「助けて」「キヤー」などと大きな声で叫ぶ。（音量がたりない場合はやり直し）</p>	<p>※怪しい人 = 「悪い人」「変な人」</p> <p>※不審者を見かけたり、不審者が近づいてきたときには、まず逃げることで、捕まらないように逃げることを強調して確認する。 ※いかなる場合も、不審者に近づいてはいけないことを確認する。 ※職員室の他に、事務室や寄宿舎職員室などもあることを確認する。 ※叫ぶことで、近くの先生に気づいてもらったり、他の人に危険を知らせたりすることができることを確認する。「助けて」などの言葉にならないときは「ワー」でも「キヤー」でもよい。</p>



ここからは、幼稚園・小学部に分かれて指導

幼稚園…年中児組教室で、1人1人不審者侵入時の演習
小学部…引き続き場面2

指導の流れ（主な発問◎、指示○）	児童の反応	留意点および配慮事項
<p>場面 2（休み時間の廊下）</p> <p>◎さっきは、教室に怪しい人が入ってきた時に、どうすればよいかを考えました。では、廊下で怪しい人を見かけた時はどうしますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>教室の場合と同じで、まず逃げる。 そして先生のいるところに行く。</p> </div> <p>◎ではこんな時はどうしますか。</p> <p>休み時間にS君は廊下で、「早く先生が来ないかなあ。」ときょろきょろしていました。幼稚園の廊下ではA先生がむこうを向いて幼稚園の子どもと話をしています。すると、怪しい人がS君に近づいてきました。どうしますか。</p> <p>○それでは、実際に廊下でやってみましょう。 （不審者TがA B棟間渡り廊下の角を曲がって、S君の方に近づいてくる。）</p> <p>モデルSの反応をもとにケースの提示 （不審者TとモデルSでロールプレイ…場面の再現）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①先生の方に向かって逃げた。…不審者に捕まってしまう。</p> <p>②不審者から離れるように逃げたが、声を出さなかった。…周囲の人に気づいてもらえない。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・逃げる。 ・先生のいるところに行く。 <ul style="list-style-type: none"> ・逃げる。 ・全員廊下に出て、教室側の壁に、1列に並ぶ。 <p>モデルS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審者から離れるように逃げる。 ・先生の方に逃げる。 	<p>※まず逃げる。（教室に入ったら逃げられなくなったり、危険を周囲に知らせられなくなる場合もある。）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>不審者側に先生がいても、不審者の方には近づかず、声を出して非常事態を周囲に知らせた後、反対方向に逃げる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室に戻る 	<p>※いかなる場合も、不審者に近づいてはいけないことを確認する。</p>



「不審者」「危ない」「近づいてはいけない」ことを意味する。



速やかに逃げ、他の先生に連絡する。

途中で会った人にも、同様にサインで知らせ、一緒に逃げる。

3 実践の成果

- (1) 実際場面の様々なケースをロールプレイで演じるにより、対処方法を具体的に示すことができた。
- (2) 緊迫感のある真剣な雰囲気だったため、不審者に椅子を投げつけたり、教室の椅子・机を倒して追跡を防ぎながら逃げるなど、効果的な対応をした生徒もいた。
- (3) 事前指導（幼児児童生徒の実態に応じて、これまで不審者が学校に侵入した事件などについて触れ、その危険性について認識させておく）、事後指導（学活や帰りの会などで確認し、約束を掲示する。）とも合わせ、ねらいを概ね達成することができた。

(幼稚部保護者の感想より)

子どもは、説明の時から怖そうにしていました。実際に体験してみると、体で覚えることができたのはよかったです。大人でも、本当にあのような場面になったらどうなるのか

不安があります。子どもたちは、大人以上に不安だと思います。

今回の様子を見ていて、子どもたちがまじめに取り組む姿がとても印象的でした。本当は、このような訓練などしなくてもよい世の中になることを望むのですが・・・。

4 課題

- (1) いざという時に学習したことが活かされるよう、繰り返し確認したり、練習したりする必要がある。特に、「逃げる」「大声を出す」練習は、各学級で繰り返し練習し、確実にできるようにしておかなければならない。
- (2) 外見で不審者（危険人物）と判断できる場合はよいが、外見ではわからなかったり、穏やかに話しかけて来たりする場合は、いつ、どのような場面で危険と判断すべきなのか、引き続き検討し、指導していく必要がある。

(幼稚部保護者の感想より)

教育相談の保護者や、その他のお客様など、出入りの多い学校なだけに、防犯教室のように見るからに悪い人でないと逃げられないだろうなと思いました。テレビなどで悪者が簡単にやっつけられるのを見ているせいか、自分たちにもやっつけられるようなイメージをもっている子もいるのだなど、小学部の子どもの言葉や逃げる様子から思いました。とっさのことだと、外へ逃げるということも考えられなくなるのだとも思いました。そして、日ごろの訓練が大切なんだと、改めて思いました。

学校だけでなく普段の生活の中でも、悪い人がいたらどうするかなど、しっかり教えておかなければと思いました。